



つづく つながる 夢を育てる学び舎
国立二小だより

令和7年(2025年)8月27日

国立市立国立第二小学校

校長 内田 辰彦

夏休みの報告

校長 内田 辰彦

39日間の長い夏休みが終わり、今日からいよいよ2学期の始まりです。その長い夏休み中に二小では、大きく2つのことがありました。一つは7月23日から25日の3日間にわたって行った「二松クラブ」です。二松クラブとは、二小地区育成会と学校が共催して行うサマースクールです。でも勉強のサマースクールではありません。様々な体験活動ができる素敵なサマースクールです。今年は次のような講座が開設されました。ベンチと子どもイスづくり・レッツダンス・みんなでレッツクッキング・カップスを楽しもう・画像作成チャレンジ・カムカムキッチンカードあそび・手品教室・飛べ！ロケット・心の声を聞いてみよう・二小の大地の再生・手話に触れよう・ドラム体験教室・くにたちカルタで遊ぼう・ルーディメンツ入門編・はじめてのバイオインフォマティクス・楽しく学ぶ武道・みんなでうたおう・動ける身体をつくろう・紙を使ってランタンを作ろう・宝箱を作ろう・考える力を育てるボードゲーム教室・花のある生活を生花で楽しもう・クラフトテープで小物作りの27講座です。そしてこれらの講座は全て、育成会や学校を通して、自発的に講師を引く受けてくださった皆様の無償のボランティアで行っています。3日間で延べ400名程度の児童が参加し、100名以上の講師の方・ボランティア支援の方が子どもたちに講座を提供していただきました。地域の人材の力です。二小の貴重な財産です。今年は二小がコミュニティ・スクールになったこともあり、今後は地域学校協働活動として二松クラブを運営していくことも検討しています。今年度は、従前のように二小育成会と学校で共催しましたが、CS委員の皆さんが受付をボランティアとして担当していただきました。担当の教職員も含め、皆さんの総力で二松クラブが開催できました。ご協力いただいた皆様に深く感謝申し上げます。

もう一つは、7月30日・31日の1泊2日で行った5年生の野外体験教室です。5年生にとっては、初めての宿泊体験です。友達と協力しながら過ごす2日間の体験学習です。1日目は、山梨県の須玉川の河畔にある津金フィッシングランドでマス釣りし釣りあげたマスを捌いて作るマスの塩焼きづくりです。マス釣りは初めての子も多く、エサの付け方や釣りあげるタイミングなど、友達と協力して教えたり教えてもらったりして釣り上げていきました。その後、釣ったマスを捌くのですが、マスを締めてワタを取って塩をして焼いていきます。普段の食事では食材と命は結びつきにくいことが多いのですが、そのことを感じながら大切にマスの塩焼きを作って、大事に食べました。そして、その日の午後は、宿泊する八ヶ岳荘のアウトドアキッチンを使った夕食のカレー作りです。薪を割って竈の火を管理する担当、お米を研いで水加減してご飯を作る担当、野菜の皮をむいて材料を切ってカレーを作る担当にそれぞれ分かれて協力して一皿のカレーライスを作りました。スイッチを入れたら火がついたり温めたりできるいつもの料理とは違い、煤だらけになったり、慎重に包丁を使ったりして料理を作りました。いつもの便利な生活を実感するとともに、忘れられないおいしきカレーライスを心から味わうことができました。翌日の乗馬体験も参加した全員が無事に行うことができ、2日間の体験学習を終えました。貴重な体験が詰まった2日間でした。

そして、いよいよ2学期の始まりです。1年生から4年生までは八小での水泳授業が始まります。10月には運動会、11月には学芸会が予定されています。そしてそれぞれの学年に応じた学習を積み重ねていきます。楽しい楽しい2学期がスタートします。

